

小学校英語

Blue Sky

elementary ⑤ ⑥

2020
年度

内容見本

小学校外国語
教科書のご案内

啓林館

Blue Sky

青く澄みわたった大空に羽ばたく

1

英語教育を通して、視野を広げ、子どもたちを取り巻く社会への興味を起こさせます。

2

英語を使って、自身の「したいと思うこと」を膨らませます。

3

英語の知識や技能を身に付けて、世界に羽ばたく力を養います。

CONTENTS

1 編集の基本方針	2
2 教科書の構成	4
3 資質・能力の育成 主体的・対話的に学ぶ	6
4 4技能5領域の育成	8
5 児童を育てる教科書の特色	
1 明確な学習内容と目標設定	10
2 スモールステップで身につける英語力	12
3 言語活動の充実	13
4 学習事項の振り返り	14
5 家庭学習・自学自習への対応 ～QRコード～	15
6 「読み」「書き」の学習への配慮	16
7 人間性の涵養 ～異文化理解、他者への配慮～	18
6 学年別の特色	19
7 観点別特色一覧表	20
8 単元一覧表	24
周辺教材の紹介	28

[先生 の視点から]

教えやすく，
児童とともに自身も学べる

1

授業しやすい見開き 1 Part (2 単位時間) 構成

1 Unit を 3 Part 構成とし，1 Part (見開き 2 ページ) に 2 単位時間を配当しました。
また，1 単位時間の内容は，余裕を持って指導できる分量としています。

2

明示化された学習内容とめあて

Unit の目標や Part ごとの「めあて」を明記し，学ぶべき語句や表現も紙面に明示しています。
到達目標や学習内容が紙面からわかるので，授業の準備がしやすいです。

3

We Can! から連なる題材

文部科学省発行の教材「新学習指導要領対応 小学校外国語教材 We Can!」の題材・配列をほぼ踏襲し，語彙や表現もほぼ網羅しています。2 年間 We Can! を使って授業した先生の負担にならず，2 年間の蓄積を活かせるようにしました。

4

評価のサポート

Part や Unit の学習後に振り返りができるコーナーを設けています。身につけた「知識及び技能」や「主体的に学習に取り組む態度」をはかる内容となっているので，評価をする際の参考にもなります。

指導計画が立てやすく，事前準備がしっかりでき，
ゆとりを持って授業できます。

学習指導要領に基づき，今後ますます多様化する社会を生き抜く「**資質・能力**」を
「**主体的・対話的で深い学び**」を通して養えるよう，
先生・児童・保護者のそれぞれの視点を考慮し作成しました。

[児童 の視点から]

主体的，対話的に
学べる

1

主体的に学べる内容

児童が思考力を働かせ，新しい語句や表現の意味，使い方，日本との文化の違いなどに自ら気づき，理解できるように工夫しています。

2

対話的に学べる内容

先生と児童，または児童同士で対話しながら英語への理解を深める活動ができるようにしています。実際に英語を使って話すことを通して，相手のことを理解したり，自分の言いたいことを伝えたりする力を養います。

思考力やコミュニケーション力も
養います。

[保護者 の視点から]

子どもの成長を感じながら，
学習に寄り添い，
いっしょに学べる

1

明示化された学習内容

学ぶべき語句や表現を紙面に提示し，子どもが学校で何を学んでいるかがわかるようにしました。

2

**子どもの理解度がわかる
書き込み欄**

紙面には書き込み欄を多く設け，子どもが学習したことや理解度など，学習の軌跡が見えるようにしました。

3

QRコードを利用した音声教材

Listen and Play の語句や Word List の音声を聞いたり，アルファベットの読み書きを学んだりできる動画を家庭でも見ることができます。

子どもと学校で学んだことを共有し，
コミュニケーションが図れます。

2 教科書の構成



Pre Unit

前学年の活動や学習からの橋渡しとなる Unit です。



Unit

メインとなる学習事項が入った Unit です。
新しい語句や表現を身につけます。



REVIEW

学期末のまとめページです。
「知識及び技能」を問う問題に挑戦したり、「思考力・判断力・表現力等」を働かせる活動を行ったりします。



Story

物語を掲載しています。
絵を見ながら単語や文の意味を推測し、
物語を楽しみます。

Word List

表現活動などで、自分の言いたいことを英語で
どのように言うのかを調べるのに使用します。

アルファベット表

アルファベットを書くときの見本です。

絵カード

各Unitで学習する単語の
カードです。

Pre Unit を含む 9 つの Unit と
各学期末のまとめの REVIEW、
Story などの付録で
構成されています。

2

Unit の 構成

活動や演習はほぼ
紙面の流れにそって
行えるので、とても
授業しやすいです。

扉



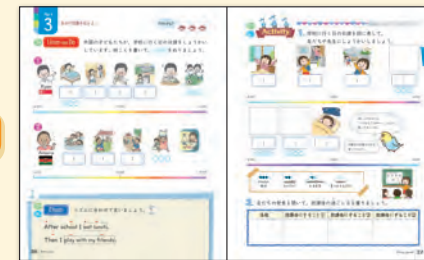
Part 1



Part 2



Part 3



Looking Back



Let's Read and Write



導入

学習の動機づけ

- Small Talk で、既習表現を使った即興的なやりとりや、新しい語句・表現の緩やかな導入を行います。
- Unit 全体のめあてを提示します。

イン
プ
ット
・
イ
ン
テ
イク

新しい語句・表現に触れ、 身につける

- 語句・表現の導入や演習をします。
- 「聞く」「話す」を中心とした豊富な活動を通して、定着を図ります。

ア
ウ
ト
プ
ット

Unit のまとめ

- 身につけた語句・表現を使って、発表活動を行います。

振
り
返
り

振り返りと自己評価

- 自分ができるようになったことを確認します。
- 学習への意欲を記します。

文字を「読む」「書く」

- 英語の文字と音との関係を示します。
- アルファベットを書きます。

思考力・判断力・表現力等の育成

- **知識**として身につけた英語を、言語活動の中で**使用する力**を養います。

Unit 内の Activity では発表活動や、ペアまたはグループでの会話をします。学んだ英語を実際に使ってみることで、表現する力の基礎を養います。



- **積極的に英語で他者と会話し、表現力**を養います。

Activity や扉のページを利用した Small Talk の中で、相手の良い点に気づいてまねをしたり、自分の話が相手にうまく伝わっているかを考えたりしながら伝え方を模索します。



- **理解したことを**どのように使えば、自分の言いたいことを相手に伝えられるかを**思考し、判断し、表現**します。

REVIEW では、提示された場面で、どのようなことを、どのような英語を使って伝えればよいのかを考えます。



知識及び技能の育成

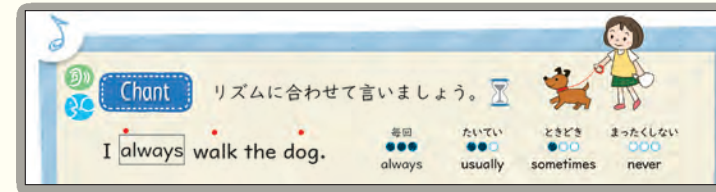
- **思考力を働かせ**、自ら気づき、**理解**できるようにしています。また、他者と対話し、互いの気づきを共有することで、**より深い知識を身につけます**。



It's 8:00 now. I do my homework.

語句や表現を導入する際に、イラストなどをヒントとして音声を聞くことで、日本語を介さず、児童が自ら、その意味や使い方に気づけるよう促します。

- Jingle や Chant, その他活動や演習を通して定着を促します。

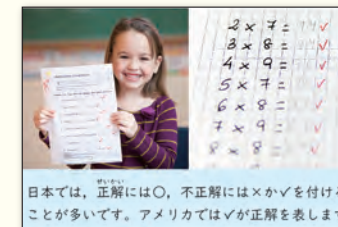


理解した表現を、聞く活動や話す活動の中で、繰り返し聞いたり口にしたりし、定着させます。

相互に作用 し合い、
3つの資質・能力を
育て ます

学びに向かう力・人間性等の涵養

- 異なる言語や異文化について**知る**ことで、**興味や関心を持って**言語や異文化に関する情報を自ら調べ、新たな知識を身につけようとします。
- 異なる言語や異文化についての**知識を持つ**ことで、会話の際に**相手の持つ文化について考え、配慮できる心**を育みます。



日本では、正解には○、不正解には×か✓を付けることが多いです。アメリカでは✓が正解を表します。

各 Unit で異文化に関する内容を取り上げ、同様の情報についてもっと知りたいという意欲をわかせます。



アメリカの昼食：お弁当を持ってきたり、カフェテリアで食べたりします。
フランスの昼食：長い昼休みの間に家に帰って食べたり、カフェテリアで食べたりします。

日本と異なる外国の文化に触れ、固定概念にとらわれない柔軟な考え方や人への接し方を身につけます。



聞くこと

聞く活動は、英語の授業のほぼ全体に関わります。クラスルームイングリッシュに始まり、新しい語句や表現のインプット、演習、先生や友だちとのコミュニケーション活動など終始英語を耳に入れます。しかしながら、ただ単に大量の英語を聞くだけでは、英語の音に慣れることはできませんが、「聞いて理解する力」は育成されません。場面やイラスト、ジェスチャーなどの手がかりをもとに、内容を推測、理解しながら聞くことが、「聞いて理解する力」の育成につながります。本教科書では、児童が英語の意味を推測、理解しながら聞く活動ができ、演習を経て「聞いて理解する力」をきちんと身につけられる構成にしています。



読むこと

活字体を読む活動は、Let's Read and Write で1文字1文字丁寧に取り上げています。特に5年生では、「活字体の大文字・小文字の識別」、「活字体の名前読み」ができるよう、動画と音声で指導します。また、「音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味がわかるようにする」ため、音声とともに文字が児童の目に入るよう、Listen and Play や Chant などでは新出語句や表現を明示しています。毎回音声とともに文字を目にすることで、どの文字がどういう読み方をするのかに気づき、自然と文字を読む力を養います。これにより、6年生各 Unit 末の Activity にある、書く活動の例文も負担なく読めるようにしていきます。

そのほか、REVIEW の CHALLENGE では「必要な情報を得る活動」ができるようになっています。



話すこと（やりとり）

話す（やりとり）活動は、主に Activity で行います。ある程度型が決まったやりとりを行い、即興的なやりとりの中でも使用できるよう練習します。また、扉のページのイラストや写真を使って Small Talk を行い、既習の表現を使った即興的なやりとりができる力を養います。



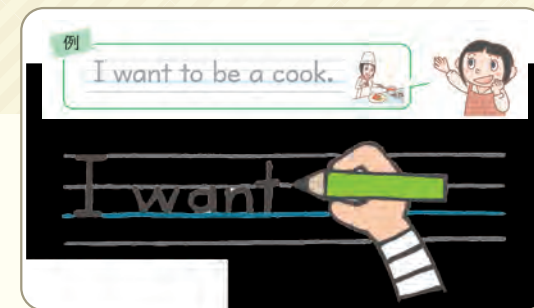
話すこと（発表）

話す（発表）活動は Unit 最後の Activity で行います。各 Part で語句や表現を「耳に慣らす→聞き取る→発話する」活動を十分行い、積み上げてきたうえで、集大成として発表活動を行う流れにしています。



書くこと

5年生では、活字体を書く活動を Let's Read and Write で1文字1文字丁寧に取り上げています。1年間を通して活字体を識別して書けるようにした後、6年生では語句や文章を書き写す活動を行います。6年生の教科書には、各 Part 末に、聞いたり話したりして慣れ親しんだ表現を用いて、自分が言いたいことを選択して書くという活動があります。そして各 Part で書いたことを積み上げて、Unit 末の発表活動につなげ、最後に自分が発表したことを文字で残せるようにしています。そうすることで、達成感を得ながら書く力を養います。



5 児童を育てる教科書の特徴

1 明確な学習内容と目標設定

- **Unit** の学習後にできるようになりたいことを「**GOAL**」として扉で提示し、学習の見通しが立てられるようにしています。



- **Can-Do List** で 4技能5領域別の目標を確認でき、到達度を自身でチェックすることができます。

Can-Do List できるようになったことリスト

次の表は小学校5年生、6年生で英語を学んで、できるようになることです。あなたはどんなことができるようになりましたか。

聞くこと		チェックする
ア	ゆっくりはっきりと話されれば、授業で学んだ語句・表現を聞き取ることができる。	
イ	ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関することについて、たんじょう日や時ごと、ねだん、夢などの具体的な情報を聞き取ることができる。	
ウ	ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関することについて、絵や写真などを見ながら、短い話のだいたいの内容が聞いてわかる。	

読むこと		チェックする
ア	アルファベットを見て、その読み方(名前読み)を発音することができる。	
イ	ポスターなどから必要な情報(イベントの時期や条件など)を読み取ったり、絵を見ながら絵本のだいたいの内容を理解したりすることができる。	

話すこと【やりとり】		チェックする
ア	コミュニケーションの中で、お願いをしたり、お願いにこたえたりすることができる。	
イ	日常生活に関することについて、自分の考えや気持ちなどを、授業で学んだ表現を使って伝え合うことができる。	
ウ	自分や相手のことや身のまわりのものなどについて、あらかじめ用意したものだけではなく、授業で学んだ表現を使って、その場で質問したり答えたりすることができる。	

話すこと【発表】		チェックする
ア	日常生活に関することについて、授業で学んだ表現を使って話すことができる。	
イ	自分のことについて、伝えようとする内容を整理し、授業で学んだ表現を使って話すことができる。	
ウ	身近で簡単なことがらについて、伝えようとする内容を整理し、自分の考えや気持ちなどを、授業で学んだ表現を使って話すことができる。	

書くこと		チェックする
ア	アルファベットの太文字、小文字を書くことができる。英語の語順を考えたり、語と語の間をあけたりしながら、授業で学んだ表現を書き写すことができる。	
イ	自分のことや身近で簡単なことがらについて、授業で学んだ表現を使って、例文を参考に、一部を入れかえながら、自分の表現したいことを書くことができる。	

120 one hundred and twenty

- 教科書のそれぞれの演習でどの技能を使用・育成するのが、**アイコン**でわかります。

Activity 例を参考にして、自分が住む地域や都道府県をしようかいしましょう。

例

住みたい場所:

住みたいもの:

● 4技能5領域を示すマーク

聞くこと 読むこと 話すこと [やりとり] 話すこと [発表] 書くこと

2 スモールステップで身につける英語力

インプット・インテイク

英語を聞いて、意味や使い方を推測・理解し、身につけます。

Listen and Guess Listen and Play など

どんな言葉が
使われているかを聞く



I get up at 7:00.

I usually do my homework at 8:00.

英語の意味を
推測する



get up
||
起きる?



do my homework
||
勉強? 宿題?

Listen and Play Jingle Chant など

英語の意味を理解し、
発話してみる



Listen and Do など

いろいろな場面や
状況の話を聞き、
基本的な表現の
使い方を身につける

日常会話

紹介

説明

意見交換



アウトプット

学んだ基本的な表現を実際を使って、自分の言いたいことを伝えます。

Say and Write Activity など



I usually go to bed at 9:00.

リピート

学んだ表現を繰り返し聞いたり使ったりしながら身につけていきます。

! 中学校へ上がる時に必要な力がきちんと身につけられるよう配慮しています。

3 言語活動の充実

Small Talk

各Unitの扉には、既習事項を使ったやりとりやUnitへの導入に適したSmall Talkに使える素材を散りばめています。イラストを見ながら短い話をしたり、いろいろ質問をしたりして、英語での会話を楽しみながら、即興でやりとりする力を養います。



Activity

PartやUnitの最終活動として、学んだ語句や表現を使ってやりとりや発表の活動を行います。理解したことを使って実際に話してみることで、定着を促します。

理由も考えよう。

Name	好きな教科	理由
自分		
友だち		
友だち		



What subject do you like?

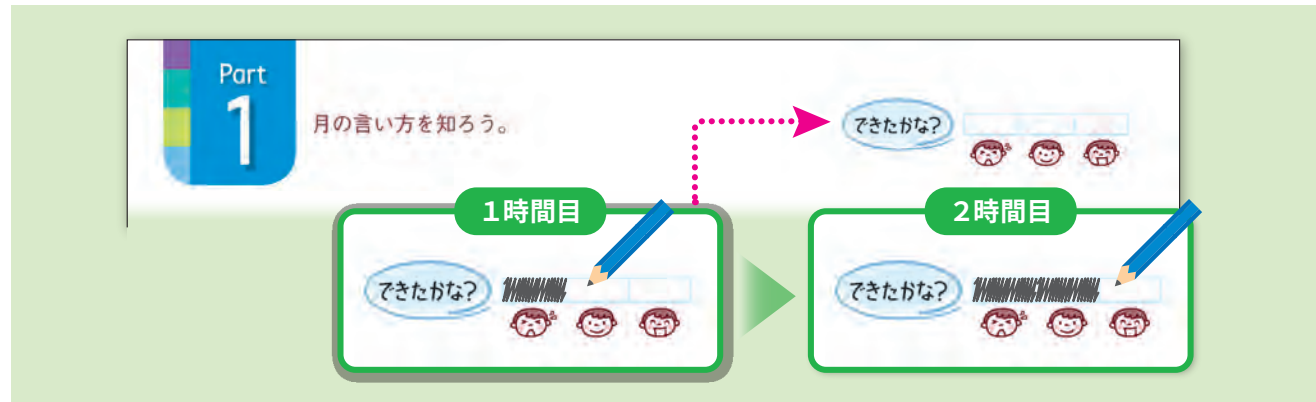
I like English.



4 学習事項の振り返り

毎時間の振り返り

毎授業の終わりに Part の目標に対してどれだけ達成できたかを振り返り、バロメータに色をぬります。
学習を重ねるたびにぬり足していき、児童が自分の成長を実感できることをねらいとしています。



Unit 学習後の振り返り

Unit で学習したことを振り返ります。

1～3 の設問では、授業でどんなことを学び、どんなことができるようになったかを児童自身が確認できます。「知識及び技能」や「思考力・判断力・表現力等」をはかるのに役立ちます。

4, 5 の設問では、児童の「～したい」を引き出します。「主体的に学習に取り組む態度」をはかるのに役立ちます。

Looking Back Unit 3 の学習をふり返りましょう。

- 1 起きる時こくやねる時こくを言えるかな。
- 2 ふだん自分が家でどんな仕事をどのくらいしているか言えるかな。
- 3 放課後にすることを伝えられるかな。
- 4 Unit 3 の学習中に「言いたいけど言えなかった」ことや、「もっと知りたい」と思ったことを書いてみよう。
- 5 Unit 3 で学習した英語をどんな場面で使いたいか書いてみよう。

5 家庭学習・自学自習への対応 ～QRコード～

児童は単語や文を読むことが難しいため、家庭学習や自学自習には音声が必要です。
そこで、教科書にQRコードを設けて音声にアクセスできるようにし、授業の復習や自主的な学習ができるようにしました。
授業でもご活用いただけます。

コンテンツ一覧



学校で習った
新出語句の
復習

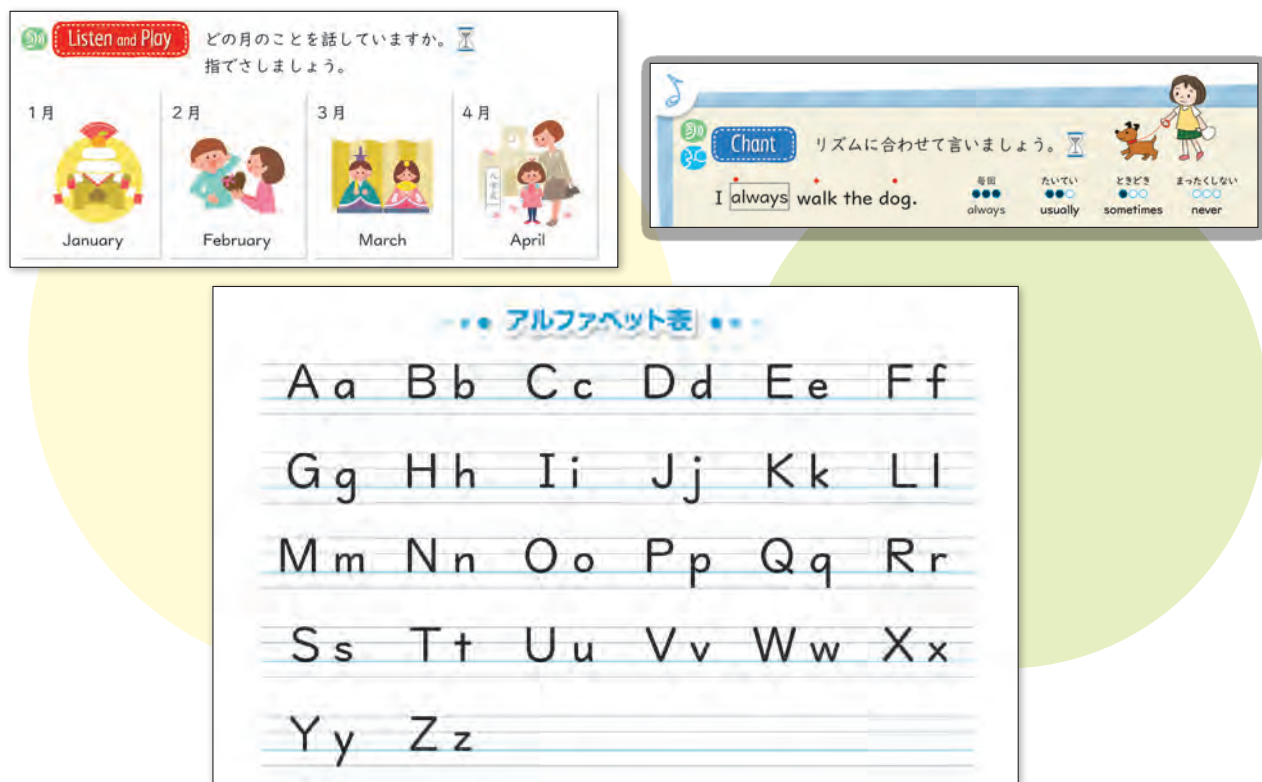
アルファベットの
読み方・書き方の
復習

自己表現の
ために自ら
調べる

6 「読み」「書き」の学習への配慮

① UDフォント（ユニバーサルデザインフォント）

教科書では日本語にも英語にもUDフォントを採用し、初めて英語の「読み」「書き」を学習する児童、特別支援を必要とする児童、すべての児童にとって学習しやすいよう配慮しています。

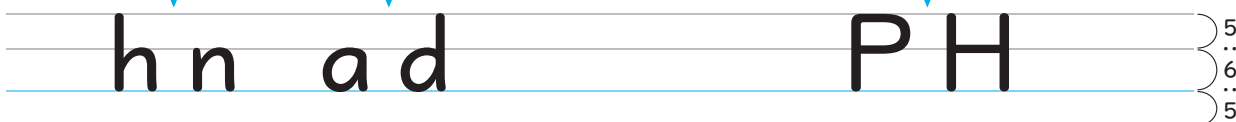


② 4線幅の比率

4線幅の比率は、大文字と小文字**どちらの学習にも適した**5:6:5を採用しています。

まぎらわしい文字の区別がはっきりします。

4線に合わせて書いても、大文字の形が崩れません。



3年生でローマ字を学習する際の4線や、中学校で一般的に使われている4線と、あまり離れないようにしました。

インクルーシブ教育を実現する 「UDデジタル教科書体」と新欧文書体

株式会社モリサワ 公共ビジネス推進課 高田裕美



2020年度から小学5,6年生の英語が正式な教科となり、アルファベットの読み書き指導も行われることとなった。また、文部科学省から配布されている英語教材の欧文形状が今までのBall & Stick体から、多様な子どもたちにとって読み書きしやすい、手の動きを重視した形状へと変わっている。【図1】

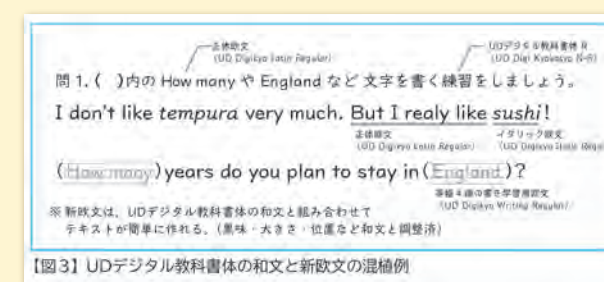


【図1】 Ball & Stick体 から手書きに近い形状へ

それをうけ、2017年秋にリリースされた Windows10 Fall Creators Update より標準搭載された、日本初のユニバーサルデザイン対応の教科書体「UDデジタル教科書体」【図2】と混植^{※1}可能な新欧文書体(正体・イタリック体・書き学習欧文)をこの度リリースした。【図3】「UDデジタル教科書体」は、ロービジョン(弱視)やディスレクシア(読み書き障害)のヒアリングをもとに、デザイナーと研究者が協力し開発した書体であり、さまざまな分野でエビデンスも取得している。



【図2】 UDデジタル教科書体(4ウエイト)



【図3】 UDデジタル教科書体の和文と新欧文の混植例

ディスレクシアの発症率は日本語圏で4~5%に対し、英語圏では10~15%となり、その差は言語的な違い(音素の多さや音韻体系の複雑さ)によることが大きいと言われている^{※2}。つまり、子どもたちは読み書きにおいて、日本語よりも英語学習でつまづく可能性が高いことになる。

2016年より障害者差別解消法が施行され、教育現場でも「合理的配慮」や「インクルーシブ教育」がキーワードとして挙げられるようになった。この「UDデジタル教科書体」のラインナップは、今後、教科書や教材での活用を通して、多様な子どもたちが分け隔てなく教育を受けられる書体として活躍してくれると開発者の立場から期待を寄せている。

※1 混植: 和文と欧文、または二つ以上の書体が混ざった版を組むこと

※2 英語教育UD研究会ホームページ内「ディスレクシアと英語」より引用

7 人間性の涵養 ～異文化理解, 他者への配慮～

異文化理解

児童があまり知らない外の世界に触れることで、興味・関心を刺激し、自主的かつ積極的に知識の幅を広げるきっかけになったり、学びに向かう力や人間性の涵養にもつながたりすることをねらいとしています。

Listen and Do 外国の子どもたちが、学校に行く日の日課をしようかいしています。時こくを書いて、○○○をぬりましょう。

1 Ryan

2 Amana

1日の生活を題材としたUnitでは、リスニング活動の中で、シンガポールやケニアの小学生の生活について触れます。

Did you know? 小学校での昼食は国や地域によってさまざまです。

Japan	the USA	France
日本の昼食：日本の給食のように、同じものをいっしょに教室で食べることは、外国ではめずらしいです。	アメリカの昼食：お弁当を持ってきたり、カフェテリアで食べたりします。	フランスの昼食：長い昼休みの間に家に帰って食べたり、カフェテリアで食べたりします。

Did you know? のコーナーでは、日本と異なる外国の言語的・文化的な内容への気づきを促します。調べ学習などにも広げられます。

他者への配慮

本教科書では特に REVIEW で他者への配慮を考えさせる活動を取り扱っています。相手の話したことや気持ちなどを考慮して、必要な事柄を説明したり、自分の気持ちや意見を伝えたりする活動を行います。

2 ① Takumi と May の会話を聞いて、わかったことを書きましょう。

I'm good at swimming.
I'm not good at skiing.
I like animals.
I don't like birds.
I like seafood.

② あなたは May と冬休みに旅行に行く計画を立てています。
① でわかったことから行き先を考えて、May にすすめましょう。

Let's go to...

5年 REVIEW 2 では、友だちの好きなものや苦手なものなどを聞き、それに配慮しておすすめの行き先を提案します。

6 学年別の特色

3, 4年生

外国語活動

3, 4年生での慣れ親しむ活動から緩やかに知識・技能の定着を目指す活動に移行します。

- 聞く、話す活動を中心に思考・判断・表現しながらたくさんの新しい語句や表現を学びます。
- 書くことについては、アルファベットの活字体を書けるようになることをねらいとしています。
- 読むことについては、アルファベットの識別や名前読みができるようになることをねらいとしています。
- 題材は主に自分の身近なことや知っていることを英語で表現する内容を取り扱っています。

- ・身近な内容について自分のことを話したり、相手にたずねたりする
- ・第三者のことについて言う
- ・外国に行くことをイメージし、したいことを言う など



5年生

- 既習表現+新出語句・表現で、聞く、話す内容の幅を広げます。
- 書くことについては、文を書くことで、語順や文構造に気づくことをねらいとしています。
- 読むことについては、音声を聞きながら文字を追うなどの活動を通して、文字を意識的に目に入れ、既習の語句や表現に再度出会った際にその意味がわかることをねらいとしています。

- 題材は主に身の回りのことをもう少し詳しく調べたり、身の回りから少し離れたことを知ったり考えたりしながら学習する内容を取り扱っています。

- ・外国の人に向けて紹介したいことや発信したいことを考える
- ・自分の生活に関連して、日常の会話で使いたい表現を学ぶ
- ・自分のこれからについて考える など



中学校とのギャップを埋める活動を行っています。

中学1年生

小学校で、基礎的な知識や技能、思考力・判断力・表現力を身につけているため、中学校でも英語の学習に戸惑いがなくなります。また、文字にたくさん触れ、語順や文構造に気づく活動を経ているため、文字があふれる中学校教科書とのギャップや文構造を学ぶことへのギャップなく移行できます。

検討の観点	教科書の特徴	教科書の具体例
教育基本法の遵守	● 今後ますます多様化する国際社会を生き抜くため、知識のみにとどまらず、考える力や伝える力を養えるよう配慮しています。 ● 他国の言語や文化に触れたり、自国の文化を紹介したりすることで、異文化理解を深め、自他国ともに尊重できる心を育てます。	➡ 5年18ページ Did you know? 6年20-28ページ Unit2
学習指導要領への対応 ①資質・能力の育成	知識及び技能の育成 ● 当該Unitで学習する語句や表現をListen and PlayやChantなどで明示しています。 ● 演習問題やコラム(Did you know?)で異文化に触れる内容を扱い、言語的な知識と文化的な知識をともに得られるようにしています。 ● 知識・技能の定着を促すべく、短時間での繰り返し学習に適した内容を適宜配置しています。 思考力・判断力・表現力等の育成 ● Listen and Guessなどの演習では、新出語句や表現の意味、使い方を、場面や状況をもとに推測する力を養います。 ● REVIEWの「思」では既習の表現を、場面や状況を変えて使用できるかを問い、思考力・判断力を養います。そして、実際にコミュニケーション活動を行う中で、表現力を養えるようにしています。 学びに向かう力、人間性等の涵養 ● 児童の身近な題材を取り扱うことで、「知りたい」や「実際に使ってみよう」という気持ちを膨らませます。また、異文化や他教科に関連する内容を扱うことで、児童の興味・関心を刺激し、主体的な学びへと導けるようにしています。 ● 他者を意識して発言内容を考えさせる活動を通して、思いやりの心を育み、平和的で円滑なコミュニケーションを行う能力を伸ばします。	➡ 5年32,33ページ ➡ 5年36,38ページ ➡ 5,6年2ページ  ➡ 5年30,32ページ ➡ 5年72,73ページ ➡ 5年20-28ページ 「学校生活」, 6年42-50ページ 「夏休みの思い出」 ➡ 5年72,73ページ
学習指導要領への対応 ②主体的・対話的で深い学び	● 児童の興味・関心を引き出す内容を扱い、主体的な学習を促します。 ● 英語の意味や使い方について、児童が推測し、自ら考え、理解できるように工夫しています。また、個々で理解したことを児童同士で共有したり、他の児童の発話を聞いて、良いところをまねしたりしながら学びを深められるよう、やりとりや発表の機会を多く設けています。	➡ 5年30,32ページ Listen and Guess, 37ページ Activity
学習指導要領への対応 ③4技能5領域の育成	4技能5領域（「聞くこと」「読むこと」「話すこと（やりとり）」「話すこと（発表）」「書くこと」）の目標達成にふさわしい活動や演習を段階的に取り入れ、主に使用・育成する領域をマークで表しています。	➡ 5,6年2ページ 「4技能5領域を示すマーク」

検討の観点	教科書の特徴	教科書の具体例
基礎・基本の定着	● 基礎的な語彙や表現は、Listen and PlayやChantなどで明示しています。これらの語彙や表現は、演習問題やコミュニケーション活動の中で繰り返し活用しながら身につけられるようにしています。 ● 場面や状況から英語の意味を推測したり、状況や目的に応じて会話したりする活動を通して、考える力の基礎を築けるようにしています。 ● コミュニケーション活動を多く設け、英語を使ってコミュニケーションを取ろうとする意識や態度を身につけられるようにしています。	➡ 5年32,33ページ ➡ 5年37ページ Activity
内容・配列・分量	● 各Unitは短く簡単な表現を聞くことから入り、Unitの終わりに向かって緩やかに話す活動へと移行していきます。6年生では各Partで聞いたり話したりした短い文を書くところまで行い、Unitの最終Activityに向かって積み上げていきます。 ● イラストや写真などを使って効果的に学習できる内容にしています。 ● 5年生では主に自分の身近なことや知っていることを英語で表現する内容を多く扱い、6年生では身の回りのことをもう少し詳しく調べたり、身の回りから少し離れたことを知ったりしながら学習する内容を多く扱っています。 ● 概ね「We Can!」に沿った配列とし、新課程に向け、児童の学習や先生の指導がスムーズに移行できるようにしました。 ● 年間配当時数は各学年64/70時間と、余裕を持って指導できるよう配慮していますので、必要に応じて、個に応じた活動や読み物教材等を扱うことができます。 ● 1時間で指導する内容も余裕を持って扱える分量にしています。 ● 語彙は学習指導要領で示された700語数以上を扱い、豊かなコミュニケーション活動ができるようにしています。	➡ 5年30-37ページ Unit3, 6年20-27ページ Unit2 ➡ 5年62-64ページ ➡ 5年30-37ページ Unit3「1日の生活」, 6年30-37ページ Unit3「地域の紹介」 ➡ 5,6年 表紙裏～1ページ 「もくじ」
コミュニケーション活動	● Listen and Guessでは即興的なやりとりができる素材を多く提供しています。 ● Activityでは、学んだ表現を使って、やりとりや発表を行います。	➡ 5年74,75ページ ➡ 6年15,17ページ
学びの見通しと振り返り、評価	● 児童が見通しを持って学習を進められるよう、各Unitの目標（GOAL）を明記し、その目標に向けたスモールステップのめあてを各Partに設けました。また、巻末にはCan-Do Listも設けています。 ● 児童が達成度を確認しながら主体的に学びを進められるよう、各Partにバロメータ（できたかな？）を設置しています。 ● Unitの最後には、学習した内容を振り返り、自己評価するコーナー（Looking Back）を設けました。「主体的に学習に取り組む態度」を見取る手がかりになる問いも設けています。	➡ 5年11,12ページ, 5,6年120ページ ➡ 5年12ページ ➡ 5年18ページ
3,4年生からの接続、中学校への接続	3,4年生からの接続 ● 5年生の最初にPre Unitを設け、外国語活動からの橋渡しとなる内容を取り上げました。 ● 各Unitの扉では、主に既習表現を使ったやりとりができるよう配慮し、3,4年生で学習した表現を繰り返し使う機会を設けました。 ● 外国語活動で慣れ親しんだ単語を巻末のWord Listに掲載し、振り返りながら学習できるようにしました。 中学校への接続 ● 5年生から6年生にかけて、徐々に文字を読んだり書いたりする機会を増やし、中学校での学習にスムーズにつながるよう配慮しています。 ● 6年生の最後のUnitで中学校生活を題材とし、児童が小学校との違いを意識できるようにしています。	➡ 5年6-9ページ ➡ 5年10ページ ➡ 5,6年100ページ ➡ 5年29ページ, 6年90,91ページ ➡ 6年84-91ページ Unit 8

検討の観点	教科書の特徴	教科書の具体例
カリキュラム・マネジメント	●「短時間で終わる」「繰り返し学習する」「途中で終わっても差し支えない」演習や活動にはモジュールマークを付け、状況に応じて柔軟に扱えるようにしています。 ●1時間で指導する分量に余裕を持たせているので、ワークシートやゲーム活動、他教科との関連活動など、授業の実態に応じてオプションの活動を適宜取り上げることができます。	➡5,6年2ページ 
他教科との関連	国語 日本語との語順やアクセントの違いを取り上げています。また、6年生のStoryでは国語で学習した物語を取り上げています。 算数 表やグラフを読んだり作成したりする活動を扱っています。 理科 おもしろい生物や植物などの写真を取り上げたり、他国での温度の表示を紹介したりしています。 社会 都道府県の特徴や外国の祭り・習慣を扱っています。 道徳 異文化理解や自国の文化、他者への配慮などを学べる題材や演習問題を取り扱っています。 総合 調べ学習や発表活動を多く扱っています。 ●各教科で使用する道具の紹介もしており、他教科の学習時に語彙を使用することで定着を促すことができます。	➡5年50ページ， 6年8,96-99ページ ➡5年23ページ ➡5,6年114ページ， 6年60ページ ➡6年20,21ページ ➡6年28ページ ➡6年27ページ ➡5年20,21ページ
道徳教育 人権・福祉・ 異文化理解・ ジェンダー配慮	●演習問題やDid you know?で異文化の話題を取り上げて、児童が視野を広げ、国際理解・異文化理解を深められるようにしています。 ●複数の人種の人々を登場させ、その話を聞くことで異文化理解を深めます。 ●服や持ち物の色、社会的役割に対して性別による固定概念を植え付けないよう配慮しています。 ●困っている人を助ける場面や、相手に配慮して会話をする場面を複数設け、思いやりの心を育めるようにしています。	➡5年36,38ページ ➡5年72,73,94 ページ
防災教育・キャリア教育など、今日的な課題の取り扱い	●海外のピクトグラムを扱い、防災への備えについて考える機会を設けています。 ●将来つきたい職業について考える機会を設け、キャリア教育の一端を担えるようにしています。 ●オリンピック・パラリンピックの題材を通して、異文化に触れることができるようにしています。	➡6年38ページ ➡6年74-81ページ ➡5年60ページ， 6年18ページ
教師支援	●1Unitを3Partに区切ったことや、それぞれの活動や演習をほぼ授業の流れにそって紙面に配したことで、指導しやすいようにしました。 ●年間配当時数に余裕を持たせ、必要事項を1年間できちんと指導しきれるようにしました。 ●デジタルコンテンツを充実させ、ワークシートなどの周辺教材も用意し、授業の中で適切に活かせるようにしました。	
ICTの活用	●インターネットを活用した調べ学習を促すコーナーを設けています。 ●デジタルコンテンツを活用して効果的に学習できるようにしています。	➡5年38ページ， 6年25ページ

検討の観点	教科書の特徴	教科書の具体例
特別支援教育， ユニバーサルデザインへの取り組み	●本文には「UDフォント（ユニバーサルデザインフォント）」を採用し、視認性・可読性を高めました。 ●個人の特性に関わらず、だれにでも必要な情報が伝わりやすい配色やシンプルなイラストを使い、「メディア・ユニバーサル・デザイン協会（MUD）」による検証を行いました。 ●デジタル教科書や拡大教科書を用意し、児童の様々な学習形態に対応できるよう配慮しています。	
家庭学習・ 自学自習への対応	●めあてや学習すべき語句・表現を明示し、児童が自ら進んで学習に取り組めるようにしています。 ●紙面にQRコードやURLを掲載し、家庭でも音声を使って学習できるようにしています。	➡5年31ページGOAL， 33ページChant ➡5年32,39， 100ページ， 6年20ページ
家庭や地域との連携	●家での仕事の分担や、週末の家庭での過ごし方について話す機会を設けています。 ●町の道案内や地域の紹介などの題材を取り上げ、自分の住む地域について考える機会を設けています。	➡5年34,35ページ， 6年52-59ページ Unit5 ➡5年80-81ページ， 6年30-37ページ
オールイングリッシュへの配慮	●Small TalkやTeacher’s Talkによる授業を進めやすい題材を取り上げています。 ●デジタル教材を使って、ネイティブによる英語の音声での指導ができるようにしています。 ●教師用指導書には指示文の英訳などを掲載し、ALTにも配慮しています。	
文字・印刷・用紙・製本	●だれにでも識別しやすい「UDフォント」を使用しています。 ●行間にゆとりを持たせ、文章が読みやすいよう配慮しています。 ●大きな判型（AＢ判）を採用し、イラストや写真を効果的に掲載することで学習効率が上がるよう配慮しています。 ●針金を使わない堅牢な「あじろ綴じ」製本を採用して、ページを大きく開けるよう配慮しています。 ●書きやすく、消しやすい、軽量で丈夫な紙を採用しています。 ●アレルギーや環境に配慮し、植物油インキ・再生紙を使用しています。	

◎ 特に重点を置いて育成する技能
○ 扱う技能

月	配 当 時 数	Unit (単元) 題材	★言語の使用場面 ★言語の働き	主な言語材料		Part	聞 く	話 す (発表)	話 す (やり とり)	読 む	書 く
				表現例	語彙・語句例						
4	2	Pre Unit I'm Hana. H-a-n-a.	★自己紹介 ★挨拶をする・説明する	Hi, I'm (Momoka). I like (strawberries). Nice to meet you. How do you spell your name? (M-o-m-o-k-a. Momoka.)	●好きな物 (食べ物, 動物, スポーツ, 色など)		◎	◎	◎	○	○
		自己紹介									
	7	Unit 1 My birthday is May 10th.	★日常生活 ★意見を言う・質問する	When's (the Dolls' Festival)? It's in (March). When's your birthday? My birthday is (January 1st). What do you want for your birthday? I want (gloves).	●月 ●行事 ●日付/序数 (1st-31st) ●ほしい物 (cap, book, gloves など)	1	◎	○			
		行事・誕生日				2	◎	◎	◎		
5	7					3	◎	○	◎		○
		Let's Read and Write 1					○			◎	◎
	7	Unit 2 I study math on Monday.	★学校での活動 ★説明する・報告する・意見を言う・質問する	What subject do you like? I like (math). Why do you like (music)? It's (fun). What do you study on (Monday)? I study (science) on (Monday).	●教科 ●曜日 ●身の回りの物 (map, recorder, scissors など) ●気持ちなど (fun, interesting)	1	◎	○	◎		
		学校生活・教科				2	◎	◎	◎		
6	7					3	◎	○	◎		
		Let's Read and Write 2					○			◎	◎
	7	Unit 3 I sometimes walk the dog.	★家庭での生活 ★寝る・発表する・質問する	What time do you (get up)? I (get up) at (7:00). I (always) walk the dog. After school I (eat lunch). Then I (play with my friends).	●日課表現 (get up, eat breakfast など) ●頻度 (always, usually, sometimes, never) ●家での仕事 (clean my room, water the flowers など)	1	◎	○			
		1日の生活				2	◎	◎			
7	7					3	◎	◎			
		Let's Read and Write 3					○			◎	◎
	2	REVIEW 1	★説明する				◎	◎		○	

◎ 特に重点を置いて育成する技能
○ 扱う技能

月	配 当 時 数	Unit (単元) 題材	★言語の使用場面 ★言語の働き	主な言語材料		Part	聞 く	話 す (発表)	話 す (やり とり)	読 む	書 く
				表現例	語彙・語句例						
9	7	Unit 4 She can sing well.	★日常生活, 学校での活動 ★説明する・報告する・質問する	I can (run fast). How about you? I can't (run fast). Can you (fly)? Yes, I can. [No, I can't.] She's[He's] (Momoka[Taiga]). She[He] can't (play the guitar). She[He] can (sing well).	●動作 (swim, dance, cook など) ●身の回りの物 (unicycle, bicycle, piano, guitar など) ●スポーツ (volleyball, soccer など) ●食べ物 (curry and rice, chicken rice など) ●動物 (kangaroo, penguin など)	1	◎	○			
						2	◎	○	◎		
						3	◎	◎			◎
		Let's Read and Write 4					○			◎	◎
10	7	Unit 5 This is my sister.	★他者の紹介 ★説明する・質問する	Who's this? She's[He's] my (mother[brother]). (Hana), are you good at (cooking)? Yes, I am. [No, I'm not.] (Hana) is[is not] good at (cooking). This is (my friend). She's[He's] (Tomomi[Yamato]). She's[He's] (smart).	●家族 (mother, father など) ●得意なこと (swimming, dancing など) ●特徴 (strong, kind, brave, friendly など)	1	◎	○			
						2	◎	◎	◎		
						3	◎	◎			
		Let's Read and Write 5					○			◎	◎
11	7	Unit 6 I want to go to France.	★旅行計画 ★意見を言う・承諾する・断る・質問する・誘う	Where do you want to go? I want to go to (Italy). Why? I want to (eat pizza). Let's go to (India)! We can (eat curry).	●国名 (France, India, China, Kenya など) ●動作 (visit, play, drink, eat, see, buy など) ●食べ物 (pizza, curry など)	1	◎	◎			◎
						2	◎	○	◎		
						3	◎	◎			
		Let's Read and Write 6					○			◎	◎
12	2	REVIEW 2	★勧める				◎	◎		○	
1	7	Unit 7 Where's the park?	★道案内 ★呼び掛ける・説明する・質問する・命令する	Where's (the cat)? It's (on the chair). (The cat) is (on the chair). Go straight. Turn (left) at (the park). It's (on your right).	●位置 (on, in, by, under など) ●身の回りの物 (pen, T-shirt, bag など) ●建物・施設 (hospital, station, restaurant など)	1	◎	○			
						2	◎	◎			
						3	◎	◎	◎		
		Let's Read and Write 7					○			◎	◎
2	7	Unit 8 I'd like pizza.	★食事・買物 ★呼び掛ける・承諾する・質問する・依頼する	What do you want for lunch? I want (curry and rice). What would you like? I'd like (pizza). How is it? It's (delicious). This is (the Healthy Lunch). How much is it? It's (four hundred) yen.	●飲食物 (steak, salad, cake など) ●味 (sweet, spicy, sour など) ●金額 (999 yen まで)	1	◎	◎			◎
						2	◎	○	◎		
						3	◎	◎			
		Let's Read and Write 8					○			◎	◎
3	2	REVIEW 3	★依頼する・命令する				◎	◎		○	

6 年

◎ 特に重点を置いて育成する技能
○ 扱う技能

月	配 当 時 数	Unit (単元) 題材	★言語の使用場面 ☆言語の働き	主な言語材料		Part	聞 く	話 す (発表)	話 す (やり とり)	読 む	書 く
				表現例	語彙・語句例						
4	3	Pre Unit I can speak English.		5年生の振り返り			◎	◎	◎		○
	7	Unit 1 I'm from Tokyo, Japan. 自己紹介	★自己紹介 ★説明する・質問する	I'm from (Paris, France). I'm good at (drawing). What's your favorite (sport)? My favorite (sport) is (baseball). When's your birthday? My birthday is (January 1st).	●得意なこと、好きな物事 (singing, drawing, sport, animal など)	1	◎	◎			◎
						2	◎	◎	◎		◎
						3	◎	◎		◎	◎
5		Let's Read and Write 1					◎			◎	◎
	7	Unit 2 Welcome to Japan. 日本の紹介	★地域の紹介 ★説明する・発表する・意見を言う	This is (miso soup). It's (delicious). You can (visit Kiyomizu Temple) in (Kyoto).	●観光地・名産 (castle, shrine, temple など) ●感想など (beautiful, fun, exciting, delicious) ●動作 (visit, see, eat)	1	◎	◎			◎
						2	◎	◎			◎
						3	◎	◎		◎	◎
6		Let's Read and Write 2					◎			◎	◎
	7	Unit 3 I want a big park in our town. 自分たちの町・地域	★地域について考える活動 ★説明する・発表する・意見を言う・賛成する・質問する	This is our town. We have (a library). We can (read many books). What do you want in our town? I want (a shopping mall). I like (shopping). I want to (watch soccer games). We don't have (a big park).	●施設 (stadium, zoo, aquarium, library など)	1	◎	◎			◎
						2	◎	○	◎		◎
						3	◎	◎		◎	◎
7		Let's Read and Write 3					◎			◎	◎
	2	REVIEW 1	★説明する				◎	◎		○	

◎ 特に重点を置いて育成する技能
○ 扱う技能

月	配 当 時 数	Unit (単元) 題材	★言語の使用場面 ☆言語の働き	主な言語材料		Part	聞 く	話 す (発表)	話 す (やり とり)	読 む	書 く
				表現例	語彙・語句例						
9	7	Unit 4 My summer vacation was great. 夏休みの思い出	★夏休み明けの学校 ★報告する・意見を言う・質問する	How was your summer vacation? It was (great). My summer vacation was (great). I (went to the beach).	●自然 (mountain, beach, lake など) ●楽しんだこと (fishing, camping など) ●食べ物 (ice cream, shaved ice など) ●動詞の過去形 (went, enjoyed, saw, ate) ●感想 (fun, exciting, good, great)	1	◎	○	◎		◎
						2	◎	◎			◎
						3	◎	◎		◎	◎
		Let's Read and Write 4					◎			◎	◎
10	7	Unit 5 What did you do last weekend? 週末のできごと	★友だちとの会話 ★報告する・発表する・意見を言う・質問する	What did you do yesterday? I (played tennis). What did you do last weekend? I (played soccer) last (Sunday). It was (exciting). It was (sunny).	●動詞の過去形 (played, made, watched, bought) ●天気 (sunny, cloudy, rainy, snowy) ●yesterday, last, weekend ●感想 (fun, exciting, good, great)	1	◎	○	◎		◎
						2	◎	○	◎		◎
						3	◎	◎		◎	◎
		Let's Read and Write 5					◎			◎	◎
11	7	Unit 6 I enjoyed school. 小学校の思い出	★学校生活の振り返り ★発表する・意見を言う・質問する	What's your favorite memory of school? It's (the school trip). My favorite memory is (the school trip). It was (great). We (saw Tokyo Skytree).	●学校行事 (field trip, sports festival など) ●動詞の過去形 (bought, played, made など) ●感想 (fun, exciting, good, great)	1	◎	○	◎		◎
						2	◎	◎			◎
						3	◎	◎		◎	◎
		Let's Read and Write 6					◎			◎	◎
12	2	REVIEW 2	★説明する・意見を言う・質問する				◎	◎		○	
	7	Unit 7 I want to be a vet. 将来の夢・職業	★キャリア学習 ★発表する・意見を言う・質問する	What do you want to be? I want to be (a vet). Why? I (can cook well).	●職業 (scientist, doctor, teacher など) ●dream, future	1	◎	◎			◎
						2	◎	○	◎		◎
						3	◎	◎		◎	◎
1		Let's Read 1					◎			◎	
	7	Unit 8 I want to join the brass band. 中学校生活・部活動	★中学校見学 ★礼を言う・報告する・発表する・意見を言う・質問する	What club do you want to join? I want to join (the badminton team). That's great! What do you want to do in junior high school? I want to (study science). I like (singing). Thank you for a good time. See you in April.	●部活動 (baseball team, art club, brass band など) ●学校行事 (chorus contest, career day など) ●動作 (join, study, make, read, wear) ●dear, sincerely	1	◎	○	◎		◎
						2	◎	○	◎		◎
						3	◎	◎		◎	◎
2		Let's Read 2					◎			◎	
	2	REVIEW 3	★意見を言う				◎	◎		○	

指導書のご紹介

第1部 [総説]

外国語教育や小学校外国語科の歴史、
現在、そしてこれからについて解説しています。
また、教科書を使った有用な指導法についても
紹介しています。

主な内容

- 英語教育の歴史
- 小学校英語教育の動向
- 教科書の構成
- 指導法

第2部 [詳説]

朱 註



教室に持ち込んで授業がで
きる実践型の指導書です。
指導の流れ、指導のポイン
トを簡潔に記しています。

主な内容

- 毎時間の授業展開例
- Small Talk例
- 音声スクリプト及びその日本語訳
- ゲーム集

ワークシート集

教科書の学習を補完するシートです。
「話す」活動や「書く」活動で適切に使用できるものを用意しています。



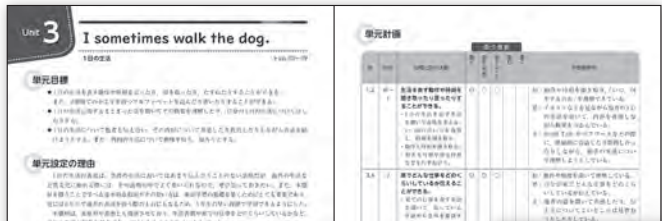
音声CD

教科書の新出語句や Chant, 演習問題、
その他付録、評価テスト集のリスニング
問題の音声を収録しています。

CD-ROM

授業用資料作成に利用できるデータや
指導計画作成に役立つ資料を用意して
います。

指導案集



主な内容

- 各単元の解説
- 毎時間の指導案例
- 指導者の英語での発話例
- 評価規準例

指導計画などの資料作成時に役立つ
指導例の詳細です。全時間分の指導
案を掲載しています。



評価テスト集

Unit ごとに学習内容を確認できるテスト集です。
パフォーマンステストも取り扱い、その評価例についても解説しています。

英語を「書く」が
好きになる、
Writing 教材

Let's Write!



「教科書100%準拠」だから安心

教科書と併せてお使いいただくことで、教科書の
内容がしっかり身につきます。



教科書と同じ書体・4線幅を使用しています。

2つの特長

特長① 2ステップ構成で取り組みやすい

Step 1

教科書で学習した表現をなぞったり、
書き写したりする。

Step 2

Step 1 で学習した表現を使って、
自分や身の回りのことについて書く。

特長② アルファベット → 単語 → 英文 と段階的に学べる



まずはアルファベットの
形を確認

5年生では色々な単語に
慣れ親しむ

6年生では長い英文に
チャレンジ

Let's Write! (5年・6年)
A4判 / 32ページ (教師用書 A4判 / 16ページ)

Coming soon...

Blue Sky
完全準拠の
テスト

評価テスト

1学年の構成

計11回分

Unit
テスト

8回分

まとめ
テスト

3回分

- 授業で学んだ「聞く」「読む」「話す」力を観点別に評価することができます。
- 「採点のめやす」を詳しく記載しているので、簡単に答えあわせを行うことができます。また、「よく見られる間違い例(書く編)」を資料として掲載しています。
- 採点管理や成績管理などに役立つ CD-ROM 付です。

授業で
使いやすい
A4サイズ版

ピクチャーカード

表面 教科書と同じイラスト + 英単語

裏面 4線入りの英単語

- 教科書に出てくる重要語を収録しています。(教科書巻末の絵カード + その他重要語)
- 裏面は4線入りの英単語を大きく掲載しています。文字指導でもご活用いただけます。
- 使いたいカードがすぐに取り出せるように、便利なカテゴリごとのインデックス付です。
- 専用ボックス付なので、簡単にカードを収納・持ち運びすることができます。

児童一人ひとりのための デジタル教科書(学習者用)

新学習指導要領を踏まえた「主体的・対話的で深い学び」のための授業支援として、また、視覚障害、発達障害など、様々な障害等により紙媒体の教科書を使用して学習することが困難な児童の学習支援として、「デジタル教科書※（学習者用デジタル教科書）」を通常の紙の教科書に代えて使用することが可能になりました。

※デジタル教科書 … 紙媒体の教科用図書と同一の内容を記録した電磁的記録である教材のこと。

基本的な機能の紹介



拡大機能

注目するところ、見たいところを、ピンチアウト操作などで簡単に大きく表示できます。

ペン機能

様々な線種や色、太さで、どんどんと書き込めます。間違っても簡単に消したりやり直したりできます。

保存機能

書き込みをはじめとする様々な学習履歴が保存されますので、いつでも続きが再開できます。

QRコード

紙の教科書にあるQRコードがデジタル教科書でも利用できます。動画やアニメーションなどは、オフラインで利用できます。

この他、お互いの書き込みや意見をスムーズにやり取りするためのツールや、重要な用語やきを暗記するための暗記ペンなど、様々なツールがご利用できます。

特別支援に関する機能

紙媒体の教科書のみを使用して学習することが困難な児童のための学習支援機能を充実しました。アクセシビリティを重視し、一人ひとりのニーズに応えます。



音声読み上げ
(速度調整可)



拡大表示（文字サイズ変更、
リフロー表示、行間調整等）



色の反転・配色変更
(文字色、背景色等)

かんじ
漢字

総ルビ表示

Option 追加購入で、デジタル教科書に豊富なコンテンツを追加できます。

アニメーション

各 Unit の言語材料を用いて、教科書の登場人物たちが会話するアニメーションです。

動画

コミュニケーション活動の例示動画や異文化紹介の動画が視聴できます。

ピクチャーカード

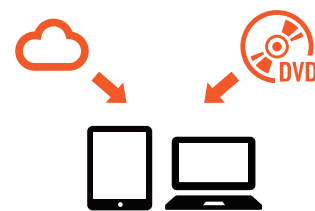
活動に使える様々なピクチャーカードです。

他にも魅力的なコンテンツがいっぱいです。

アプリ版

オフラインでいつでもどこでも使いたい！

タブレット等に専用ビューア、コンテンツをインストールして利用します。
一部の URL へのリンク機能を除き、教科書画面や QR コンテンツ、オプション購入した各種コンテンツがオフラインでご利用いただけます。



ブラウザ版

インストールや更新の手間を抑えたい！

学校等のサーバーにデジタル教科書のデータを配置し、クライアント端末の OS に付属のブラウザで閲覧・操作します。サーバーにデータを配置しますので、インストールや更新作業の工数を抑えることができます。オンライン環境が必要です。

※表示速度は、サーバーからクライアント端末までの有線・無線の通信環境により変わります。



動作環境	学習者用・指導者用とも動作環境は共通です。また、アプリ版・ブラウザ版も同様です。			
対応 OS	Windows		iOS	
	Windows 10 (64bit 日本語版) を推奨 ※S モードは対象外 Windows 8.1 (32bit/64bit 日本語版) ※Windows RT は非対応		iOS 11 以上	
解像度	1366x768 以上 (1920x1080 程度を推奨)		Retina 解像度の iPad	
その他	CPU	Core i3 以上を推奨	対象 タブレット	iPad Air2 以上
	メモリ	4GB 以上		
	HDD 空き容量	1GB 以上 + 教材や学習履歴の保存領域		
	画面の表示色数の設定	32 ビットカラー		
ブラウザ版 (機能制限あり)	Chrome, Edge の最新版を推奨 (IE11 は左記ブラウザより速度が低下します。音声読み上げ非対応) ※Web 配信が快適にできる環境 (WindowsServer 2012 以上)		Safari を推奨	

●ブラウザ版はネットワーク接続が必須です。●Windows は、マイクロソフト社の登録商標です。●iOS は、Cisco の登録商標です。●iPad は、Apple Inc. の登録商標です。
※画面や機能は現在開発中のため、変更になる場合がございます。予めご了承ください。

指導者用デジタル教科書

「学習者用デジタル教科書」は、学習者用端末で利用する児童一人ひとりを対象にしたライセンス商品です。別途、学校内の指導者用端末にインストールでき、授業でクラス内すべての児童を対象に教科書紙面やコンテンツを電子黒板やプロジェクタで拡大提示できるライセンスを有した「指導者用デジタル教科書（教材）」も、現行版以上にさらに充実して発売予定です。



○付録 CD-ROM にデジタル教科書の機能の紹介動画を収録しています。
[start.html](https://digi-keirin.com/dtext/eigo.html) をクリックして、メニューから選んでご覧ください。

体験版や詳しい内容は <https://digi-keirin.com/dtext/eigo.html>

体験版ユーザーアカウント
ID: keirin-eigo PW: Eigo2020



この資料は、2020年度用小学校教科書の内容解説資料として、一般社団法人教科書協会「教科書発行者行動規範」に則って作成しています。

拡大教科書のご紹介

弱視児童への配慮として、通常の教科書の文字や図形、イラストなどを大きく、読みやすくした教科書です。

著作編修関係者

影浦 攻	鹿児島純心女子大学副学長	田辺 尚子	福山平成大学教授
青木 浩幸	国際基督教大学助教	中山 彩美	東京都大田区立入新井第五小学校教諭
生馬 裕子	大阪教育大学准教授	長谷川 淳一	桜美林大学准教授
池田 あゆみ	京都光華中学校・高等学校教諭	日江井 真	名古屋市立北山中学校校長
伊藤 扇	慶応義塾幼稚舎教諭	Peter Ferguson	奈良教育大学准教授
今井 京	野々市市立富陽小学校指導教諭	藤岡 三奈子	大阪市立豊仁小学校教諭
臼田 悦之	函館工業高等専門学校教授	藤本 典子	元和歌山市立松江小学校校長
大木 俊英	白鷗大学准教授	藤原 康弘	名城大学准教授
岡崎 浩幸	富山大学教授	Michael Cafuta	関西大学初等部教諭
尾島 司郎	横浜国立大学准教授	牧原 勝志	日置市立伊集院小学校校長
金子 淳	山形大学准教授	町田 智久	国際教養大学准教授
兼重 昇	広島大学准教授	松井 孝彦	愛知教育大学講師
狩野 晶子	上智大学短期大学部准教授	矢野 智子	京都市立朱雀第二小学校校長
河合 裕美	神田外語大学児童英語教育研究センター専任講師	山口 常夫	東北文科大学教授
川上 典子	鹿児島純心女子大学教授	山崎 祐一	長崎県立大学教授
Quint Oga-Baldwin	早稲田大学教授	吉田 まりか	佐賀市立北川副小学校教頭
Chris Edelman	立命館大学専任講師	株式会社新興出版社啓林館編集部	
佐藤 佳子	敬愛大学准教授	[特別支援教育に関する監修]	
佐藤 裕子	船橋市立若松小学校教諭	柘植 雅義 筑波大学教授	
師子鹿 元美	別府大学短期大学部教授	[言語力に関する監修]	
高林 泰子	福岡市立愛宕浜小学校常勤講師	芥川 元喜 金沢星稜大学准教授	
竹崎 優子	高知市立義務教育学校土佐山学舎校長	[防災・減災に関する監修]	
田尻 悟郎	関西大学教授	河田 恵昭 関西大学社会安全研究センター長 特別任命教授	
立花 千尋	姫路大学教授		



ホームページ <http://www.shinko-keirin.co.jp/>

詳しい内容はこちら→



本社	〒543-0052	大阪市天王寺区大道4丁目3番25号	電話 (06) 6779-1531
東京支社	〒113-0023	東京都文京区向丘2丁目3番10号	電話 (03) 3814-2151
北海道支社	〒060-0062	札幌市中央区南二条西9丁目1番2号 サンケン札幌ビル1階	電話 (011) 271-2022
東海支社	〒460-0002	名古屋市中区丸の内1丁目15番20号 ie丸の内ビルディング1階	電話 (052) 231-0125
広島支社	〒732-0052	広島市東区光町1丁目7番11号 広島CDビル5階	電話 (082) 261-7246
九州支社	〒810-0022	福岡市中央区薬院1丁目5番6号 ハイビルズビル5階	電話 (092) 725-6677

QRコードは、株式会社デンソーウェブの登録商標です。QRコードから視聴できる情報は無料ですが、インターネット接続に必要な費用やパケット通信料などは使用者のご負担になります。